

議会報告会報告書

| | | | | | |
|--------------------|--|---------------|------|---|---------------|
| 開催日時 | 令和4年10月27日(木) 午後7時00分～午後8時15分 | | | | |
| 開催場所 | 掛川市役所4F会議室 | | | | |
| 参加人数 (議員・事務局除く) | 55人 | | | | |
| 出席議員 | 分科会班 | 富田まゆみ | 嶺岡慎悟 | 寺田幸弘 | 藤原正光 |
| | | 山本裕三 | 大井 正 | 安田 彰 | |
| 役割分担 | 班 長 | 富田まゆみ | | 司会進行 | 大井 正 |
| | 総務委員会 報告 | 寺田 幸弘 | | 環境産業 委員会報告 | 藤原 正光 |
| | 文教厚生 委員会報告 | 嶺岡 慎悟 | | 受 付 | 山本 裕三 安田 彰 |
| | 記 録 | 山本 裕三 安田 彰 | | | |
| 区分 | (質疑) | | | (答弁) | |
| 総務 | <p>Q 人口を維持していくためには、移住者を増やすことが重要になる。若い世代にとって魅力ある掛川にするには、子どもの育成環境がポイント。子育て世代は学校の置かれている環境とか、通学路の安全性を気にかけている。石川県野々市市は歩道が広く魅力あるまちになっている。通学路の安全性や道路について考えてほしい。</p> <p>もう一つ自治会では役員のなり手がいない状況がある。現在掛川市の自治会長の6割は働いている。働きながらできる自治会長、自治会の仕事量を考えている。このような自治会の背景を理解した上で対応、ご協力をお願いしたい。</p> | | | <p>A 地区集会でも、安全安心な通学路は話題になっている。これについては市と話をしながら、安全安心な通学路が確保できるような算段をとっていく。</p> <p>働きながらできる区長さん、自治会活動についても配布物の電子化などを含め検討している。生涯学習協働推進課と話をする中では、いい形で自治会活動ができるよう、若い人でもできるような形を考えているとのことであった。市議会としてもいろいろな提案をしていきたい。</p> | |
| 環境産業 | 質疑なし | | | | |

| 区分 | (質疑) | (答弁) |
|------|---|--|
| 文教厚生 | <p>Q 日坂は小規模校であり重大なことである。学校以外に、地域の学習センターや学童保育所があるので、進め方として公共施設全体としての話として考えている。学校以外の施設も同時に進めるという話があった。</p> <p>学校再編は学区の再編を含むということか。</p> <p>進め方で学校再編計画策定という②のところの枠組み・形態の叩き台ができて、それを前提に中身を地区がどうするという話なのか、地域が形態や枠組みを含めて考えるのか、</p> <p>決まったことに対して中身だけ考えるのでは困る。そこはどうなっているのか。</p> <p>純粹に学校の問題を分科会的に話し合う場があってもいいと思う。最終的には、公共施設全体を同時に考えることが大事だと考えている。</p> | <p>A 学校再編は地域にとって大変なことで、地域によって状況は異なる。</p> <p>再編では、学童や施設も同時に進められる。老朽化や公共施設マネジメントの話も出ているので、同時に進めていくことになると思う。</p> <p>学校再編にはいろいろな理由がある。教育環境をどうするか、施設の老朽化、生徒が多くなりすぎたとか、そういうことを総合的に考えることになるので、市民にわかりやすいような進め方ができるよう議会としても考えていく。</p> <p>学区の再編について市は明言していない。そういう中で市民の考えを聞きたいということだと認識している。</p> <p>やり方については、確定していないと考えている。議会として、地元の合意無くして進めるべきでないと考えている。</p> |

議会報告会報告書

| | | | | | |
|--------------------|--|------|-------|--|-------|
| 開催日時 | 令和4年11月8日(火) 午後7時00分～午後8時30分 | | | | |
| 開催場所 | 掛川市役所4階会議室 | | | | |
| 参加人数 (議員・事務局除く) | 39人 | | | | |
| 出席議員 | 1班 | 草賀章吉 | 勝川志保子 | 藤澤恭子 | 藤原正光 |
| | | 高橋篤仁 | 橋本勝弘 | 山本裕三 | |
| 役割分担 | 班長 | 草賀章吉 | | 司会進行 | 勝川志保子 |
| | 総務委員会報告 | 藤澤恭子 | | 環境産業委員会報告 | 藤原正光 |
| | 文教厚生委員会報告 | 高橋篤仁 | | 受付 | 橋本勝弘 |
| | 記録 | 山本裕三 | | | |
| 区分 | (質疑) | | | (答弁) | |
| 総務委員会 | <p>Q 外国人対応に関して地域との繋がりが無い。インドネシアの方がいるがアパート住まいで公会堂に来る機会が無い。なるべく公会堂に呼びたい。専門部署とはなにか。</p> <p>Q 議会の本来の役割は行政チェックである。総務であれば財産問題である。近年もあった。市に対する批判やチェックを期待する。</p> <p>Q 自治体活動ができなくなった地域への対応。上垂木に住んでいるが高齢化が進んでいる。自治会の役員のなり手が高齢化で少なくなっている。仕事の負担感が原因である。市からの依頼事項が非常に多い。以前からその量はあまり変わっていない。現場の高齢化による負担感が多い。依頼事項の全市的な見直しが必要ではないか。</p> <p>Q カーボンニュートラルにむけて風力</p> | | | <p>A まだ決定はしていないが議論をしている。現在国際交流センターがあり対応をしている。NPOが行っている。そこだけでは足りない。大東区域に外国人が多い。ますます増えてくるので対応が必要。手厚い対応をするために検討をしている。</p> <p>A 行政チェックは非常に重要。議員一人がより勉強しチェックをしていくべき。議員にも伝える。</p> <p>A 非常に共感する内容である。定年延長も原因がある。区長会連合会とも協議をしながら進めていきたい。</p> | |

| | | |
|----------------|--|--|
| <p>環境産業委員会</p> | <p>発電、太陽光の状況は？原発をどう考えているか伺いたい。電力になぜ触れないのか伺いたい。</p> <p>Q 小笠山の風力発電、掛川で一番高い山で風力発電の計画がある。再生可能エネルギーと自然破壊のバランスを考えることが必要。再生可能エネルギーに関して議会としても方向性を示していただきたい。</p> <p>Q 制服が変わるとのこと。デザインは同じか。PTAはなり手がいない。旅行会社の代行のニュースがあったが掛川市はどうか。</p> | <p>A 今回のテーマは意識を変えていきたいという趣旨。掛川市の実行計画では目標は 26 パーセント、現状は 9.7 パーセントである。原子力発電に関しては現在、原子力規制委員会で審査中であるので現在私たちは議論をしていない。掛川市のエネルギーの在り方に関しては今年の委員会では取り上げていないので、今後担当課と議論をしていきたい。</p> <p>A 今回はエネルギーをテーマにしているが、掛川市は再生可能エネルギーを進めている。今後も当局と話しながら推進と規制両方で考えていく。</p> |
| <p>文教厚生委員会</p> | <p>Q 制服が変わるとのこと。デザインは同じか。PTAはなり手がいない。旅行会社の代行のニュースがあったが掛川市はどうか。</p> <p>Q 行政レベルが下がっている。マネジメントが出来ていない。議会としてチェックをしていただきたい。</p> <p>Q 私は反対の意見である。若い世代は非常に頑張っている人もいる。今回参加させていただき勉強になった。叱咤激励をうけてリーダーとして頑張りたい。</p> | <p>A 令和 6 年まで検討をしている。様々なニュースがあるが掛川市では現在具体的な話は出ていないと認識している。今後話していかなければならない。</p> <p>A 私たちも含めて気を引き締めていきたい。</p> <p>A 全体で見るとマネジメントが不足しているところもあると感じる。</p> |
| <p>その他</p> | <p>Q 区長選出に苦勞をしている。意見交換会をした。事務局設置やOBのサポートをしてくれれば区長のなり手も出てくる。アンケートをぜひ見てほしい。</p> | <p>A 新しいあり方を考えていかなければならない。区長会からのアンケートを私たちも調査していきたい。</p> |

議会報告会報告書

| | | | | | |
|--------------------|---|-------|------|--|------|
| 開催日時 | 令和4年11月24日(木) 午後7時00分～午後8時20分 | | | | |
| 開催場所 | 大須賀交流センター | | | | |
| 参加人数 (議員・事務局除く) | 32人 | | | | |
| 出席議員 | 3 班 | 富田まゆみ | 寺田幸弘 | 松浦昌巳 | 山田浩司 |
| | | 石川紀子 | 二村禮一 | 松本 均 | |
| 役割分担 | 班 長 | 富田まゆみ | | 司会進行 | 石川紀子 |
| | 総務委員会 報告 | 寺田幸弘 | | 環境産業 委員会報告 | 松浦昌巳 |
| | 文教厚生 委員会報告 | 山田浩司 | | 受 付 | 二村禮一 |
| | 記 録 | 松本 均 | | | |
| 区分 | (質疑) | | | (答弁) | |
| 総務委員会 | <p>Q 外国人対応が多いのでは、人口は日本人の方が多のに、なぜ外国人労働者を取り上げたのか？</p> <p>Q 人口増には、居住者が安心安全な暮らしを保証できるように、市に来年度以降メスを入れてほしい。</p> | | | <p>A 移住定住者の確保を考えると、外国人にスポットを当てるようになる。また人口増のために子育て環境も考える。</p> <p>A 外国人や居住者等について、一緒になって進めたいと思う。</p> | |
| 環境産業委員会 | <p>心に残ったキーワード 「もったいない」「食品ロス」</p> <p>Q 市としての支援はどうか？「発表だけではダメ」「実行するべき」</p> <p>Q 方向性は間違っていないが、長時間をかけて知らせる事と、合意形成を図るべき。</p> <p>Q スーパーのゴミの減量を知らなかった。買い物などでポイントなどを付けたらどうか？行政に伝え</p> | | | <p>A 企業側には市へ提言書、市民には「もったいない条例」を進める。</p> <p>A 企業や市民の皆様、伝え方を考えている。</p> <p>A スーパーなど個々に活動しているが、企業相談して進めたい。伝え方も課題だと思ってい</p> | |

| | | |
|----------------|--|--|
| <p>文教厚生委員会</p> | <p>て欲しい。</p> <p>Q 再編前に老朽化の建物等どうするのか？予算が無いと言うが市議会としてどう思うか？</p> | <p>る。</p> <p>A 私もそう思う。一般質問で私が質問する予定である。</p> |
| <p>自由質疑</p> | <p>Q 養鶏場の問題で西大谷川など県にもっと市議会から要望をするべきである。企業の責任もそうだが行政代執行や管理については、県の責任だと思う。</p> | <p>A 県に要望書を提出している。今後は水質検査の予算も提出される。市民の環境を守るために進める。</p> |

議会報告会報告書

| | | | | | |
|--------------------|--|-------|-------|--|---------------|
| 開催日時 | 令和4年11月28日(月) 午後7時00分～午後8時20分 | | | | |
| 開催場所 | 大東支所 市民交流センター | | | | |
| 参加人数 (議員・事務局除く) | 49人 | | | | |
| 出席議員 | 2班 | 山本 行男 | 窪野 愛子 | 鈴木 久裕 | 嶺岡 慎悟 |
| | | 大井 正 | 鷺山 記世 | 安田 彰 | |
| 役割分担 | 班 長 | 山本 行男 | | 司会進行 | 窪野 愛子 |
| | 総務委員会 報告 | 鷺山 記世 | | 環境産業 委員会報告 | 大井 正 |
| | 文教厚生 委員会報告 | 嶺岡 慎悟 | | 受 付 | 鈴木 久裕 安田 彰 |
| | 記 録 | 安田 彰 | | | |
| 区分 | (質疑) | | | (答弁) | |
| 総務 | <p>Q 人口減少を止めることは大事なテーマ。外国人や障害を持った方との共生を言っているが、大東は外国人の比重が多いのでこの点はわかる。もっと大事なことは高齢者が生きがいをもって生活できる政策が必要。先日94歳の方が交通事故を起こしたニュースがあった。大東地区では車が無いと生活できない状況。免許証返納がなかなかできない。市としても免許証返納に取り組んでいると思うが成果がわからない。市は今年の1月から3月までやったお達者タクシー実証実験をやった。その結果を問い合わせたが明確な回答は無く、公共交通会議で提案するとのことであった。8月の会議の記録を見ても触れられていなかった。聞いたところでは、上限が1,000円で利用した人の95%は掛</p> | | | <p>A 1月から3月まで行ったお達者タクシー実証実験の利用者は、渡辺様のおっしゃるとおり。もう一つ課題として見えてきたのは、旧掛川市では普段タクシーを利用されている方が利用したことが判明した。新規利用者を掘り出すために設けられたものでもある。前回の結果から長距離利用される方が使われないことが判明したので、第2弾を1月4日から3月いっぱいまで行う。来年度地域公共交通計画に実証実験の結果が反映される。大切なことは大東大須賀地区の方がこの実証実験に参加すること。大東大須賀地区の方のタクシーの長距離利用の実態はわかりかねるが、5000円以上の利用で3,000円助成されるので。ぜひ利用してほしい。その</p> | |

川地区の方で、大東は4%、大須賀は1%。大東に住んでいる方は実証実験の恩恵はなかった。第二弾の実験は上限が3,000円で、登録申し込みが12月で、あまり知られてなくて、大東地区の人がどれ位登録したかわからないが、今後高齢者の移動手段の確保を議会の中で取り上げてもらいたい。

Q 対象者が75歳以上または介護の用件を満たしているかですが、75歳以上の方がインターネットできますか。そういうことが、本当に高齢者のための交通手段になっていくか、当局にチェックしてもらいたい。

Q 産業振興で脱炭素に取り組むということだが、風力発電では間に合わない。手っ取り早いのは原子力の再稼働、これをどう考えているのかお考えをお聞かせ願いたい。

Q 市は高い電気料を払って、電気消して節約しているが、掛川市の使っている電気料は高い。そういう責任を議会は追求しているのか。人口減少の中で、産業は誘致しなければならない。電気はどうするのか。中

結果が地域公共交通計画の策定に反映される。

どうやって登録するかですが、インターネット上で登録するか、市役所に足を運んで申請する。

A 総務委員会の年間テーマは「市の持続的な成長のために」。最近過去になかった事例が出てきている。区が存続できないというような例が掛川市でも起きている。渡辺さんご指摘のような交通の課題も起きている。総務委員会として、議会として先を見越して提言していきたい。そのために皆様方からご意見やお知恵をいただいて、それを基にして私たちの考えと皆様の考えを結びつけて、市長に提言していく。人口維持が大変な時代。ここに住んでよかったと思える掛川市を作りたい。免許返上すれば1万円もらえるがそれで終わり。限られた財源のなかでやっていくことなので課題もある。

A 原発については、委員会での議論されていない。委員としての原発に対する態度表明はできない。市長の考えは安全安心が確認できなければ稼働には賛成できない。

A 今のご意見をテーマとして環境産業委員会で議論するきっかけにしたい。

電気料が高い点については、議員から質疑が出ており、継続的な回答がくるようになっている。

| | | |
|-------------|---|---|
| <p>文教厚生</p> | <p>部電力は火力発電が多い。それを減らすには原子力だと思いが、火力を減らして電気はどうなるか、提言をお聞かせ願いたい。</p> <p>Q 学校再編計画は地域の合意が必須である、地元合意が無ければ進めるべきでないというこの点をしっかりしてほしい。この計画の中で盛んに適正規模ということで小学校が12から18と言われているが、1957年に文部省から出された。当時は戦後のベビーブームで子どもが増えているときで、市町村合併も進んで学校の統廃合がされた。それで大きくなりすぎないようにという意味で適正規模が出された。そのとき適正配置も出された。小学校は歩いて4kmの範囲に、中学校は6km。適正規模と適正配置は随分前に決められた。適正規模が子どもにとって適正なのかどうか、教育的観点から出されたものではない。小中一貫が上から下りてくるのではなく子どもたちが安心して通える学校を作ってほしい。再編だから統合もあれば分離もあると思う。9中学校区で既定路線ができていうことでなく、立ち止まって考えてほしい。</p> | <p>A 住民合意は、議会としても絶対外せないことだと考えている。住民合意については、他市では自治会なり地域から要望書という形で出てくるケースもある。そういう形をとるのか他の形なのかは、これからになる。今回適正配置は入れていないが、適正規模については牧之原市が大規模な学校を想定している。旧掛川では大規模な学校になってしまう学校があるので、そうならないようにしたい。旧大東町時代に中学校を1校にするという話も出ていたが、現実的なのか議会から考えていきたい。5年後には複式学級になってしまう学校が出ているので、そういう状況も合わせて議会で考えていく。委員会協議会で皆さんから出た意見を一つ一つ読んで、提言にまとめていきたい。</p> |
| <p>自由討議</p> | <p>Q 土地の売却を積極的にするという説明があった。掛川市は売ってはいけない土地を売ってしまい、業者から賠償請求され負け、上告もしているようだが、その説明や責任の所在の説明がない。責任追及の結果と今後の土地売却の方針について教えてほしい。(千浜、太田)</p> | <p>A あってはならないことで、東京高裁で争っていくことになっている。議会では必要な弁護士費用を承認した。3,500万円の内地代金の1,000万円を差し引いた2,500万円は、皆さんの税金から支払うことになる。それに対して市民の中には納得できない方もいらっしゃる。今回の裁判では掛川市の言い分が認められなかったこともあるので、少しでも安くできるよう裁判で争う。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>その当時市の不祥事が4件ほど起こり、それに対する特別委員会を立ち上げた。そこで関係者(市職員や土地購入業者)に集ってもらって状況を把握した。誰が悪いかというような結論には至らなかった。この裁判で市職員に特別な瑕疵が認められた際には、賠償金を市が一旦払った後、市から当事者に賠償金を払ってもらうよう、裁判の決議の際に議会は市に対して付帯決議をつけた。</p> <p>この裁判の経過については議会として注視していく。</p> |
|--|---|